

# Bordeaux Rouge

 *St-Julien*

シャトー・グリユオ・ラローズ

'64 CHATEAU GRUAUD LAROSE

46,000

\*第2級格付け。グリユオ・ラローズにとって素晴らしい出来の年。柔らかな味わいになりつつも、豊かな果実味を残し風格を持つワイン。

シャトー・レオヴィル・ポワフェレ

'66 CHATEAU LEOVILLE POYFERRE

40,000

\*グレートヴィンテージと言われる66年。熟成により複雑さが増し、エレガントな味わいを感じる。

シャトー・デュクリュ・ポカイユ

'75 CHATEAU DUCRU-BEAUCAILLOU

34,000

\*第2級格付け。熟成を経てやや濃さがとれてスムーズな口当たり。複雑さや西洋杉・ハーブ・鉄の香りは健在。

シャトー・レオヴィル・ラスカース

'76 CHATEAU LEOVILLE LAS CASES

48,000

\*第2級格付け。サンジュリアンで最も晩熟と評されるシャトー。スパイシーさが年と共に円やかになり飲み頃を迎えている。70年代の穏やかさがある。

シャトー・グリユオ・ラローズ

'82 CHATEAU GRUAUD LAROSE

76,000

\*第2級格付け。濃いガーネット色で、タール、甘草、クレーム・ド・カシス、グリルした肉の香りが素晴らしい。凝縮感があるスケールの大きなワイン。

シャトー・ベイシュヴェル

'83 CHATEAU BEYCHEVELLE

30,000

\*第4級格付け。サンジュリアンには珍しくメルロー種比率が高く、とてもまろやかで上品な味わいと素晴らしいブーケを持つ。

シャトー・レオヴィル・ラスカース

'83 CHATEAU LEOVILLE LAS CASES

40,000

\*第2級格付け。熟成し、ドライスパイス・カカオ・西洋杉の香りと、柔らかで厚みを感じるボディを持つ。

シャトー・グロリア

'86 CHATEAU GLORIA

18,000

\*ブルジョア級でありながら、品質はグランクリュ相当と言われてきた。やや軽めで、スマートなスタイルに熟成している。

シャトー・グロリア

'88 CHATEAU GLORIA

18,000

\*ブルジョア級ワイン。カベルネソーヴィニオンが主体でありながらも、ふくよかで柔らかな味わいも持つ。

シャトー・ラグランジュ

'89 CHATEAU LAGRANGE (1500ml)

40,000

\*熟したベリーの実とヴァニラ・オークのブーケがうまく引き出されている。

レ・フィエフ・ドゥ・ラグランジュ

'93 LES FIEFS DE LAGRANGE

12,000

\*やや濃い目のガーネット色。カベルネ・ソーヴィニオンの熟成香りやドライハーブ・鉛筆などの香りがあり、酸の角はとれ上品なバランスを保っている。

ラ・レゼルヴ・ド・レオヴィル・バルトン

'94 LA RESERVE DE LEOVILLE-BARTON

13,000

\*第2級格付けレオヴィル・バルトンのセカンド。この地域らしいバランスのとれた味わいに西洋杉・ドライハーブの熟成感が感じられる。

シャトー・レオヴィル・バルトン

'95 CHATEAU LEOVILLE-BARTON

24,000

\*色は濃いルビー。古典的な、バニラ・オーク・カシス・西洋杉・スパイスの香りがある。濃厚だが熟成によりタンニンは柔らかい。

シャトー・ブランネル・デュクリュ

'95 CHATEAU BRANAIRE DUCRU

20,000

\*第4級格付け。暗いルビー色。クランベリー・ブラックカラントの香りと新樽の香りが混ざり、しなやかで魅力的で複雑な香りが広がる。

シャトー・ベイシュヴェル

'96 CHATEAU BEYCHEVELLE

22,000

\*ヴァニラ、動物系の香りと凝縮した果実味。タンニンは柔らかで、果実の心地よいアロマが素晴らしいエレガントなワイン。

サルジェ・ド・グリユオ・ラローズ

'07 SARGET DE GRUAUD-LAROSE

9,000

\*カベルネ特有のカシスやシダ香に樽由来のロースト香・コーヒー・バニラの香り。豊かなタンニンと程良い酸味、滑らかだがやや硬い味わい。